

令和元年度
安城市行政評価報告書

安城市行政評価委員会

令和元年12月16日

安城市長 神谷 学 様

安城市行政評価委員会

委員長 横山 幸司

副委員長 齊藤 由里恵

委員 磯貝 禎之

委員 岩井 洋二

委員 篠田 遼一

委員 松岡 万里子

令和元年11月2日に公開行政レビューを実施し、その結果を踏まえ、このたび行政評価報告書をまとめましたので報告いたします。

記

行政評価とは自治体が発行する施策について現状分析を行い、今後の方向性を評価することで、改善に結びつける取組ですが、安城市では市民と行政との協働による「公開行政レビュー～市民による市民のための公開事業評価～」として、平成26年度から6年間継続して実施されています。

公開行政レビューにおいて有意義な議論をするため、事前に市民評価員に対して説明会を実施し、公開行政レビュー及び対象事業に対する理解を深めていただきました。

そして、公開行政レビューでは3つの事業について、必要性や効率性等の観点から評価を行い、2事業が「拡充」、1事業が「廃止」という結果になりました。

このたび、今回の公開行政レビューにおいて評価員から出された意見等を集約し、当委員会として行政評価報告書を次のとおり取りまとめました。

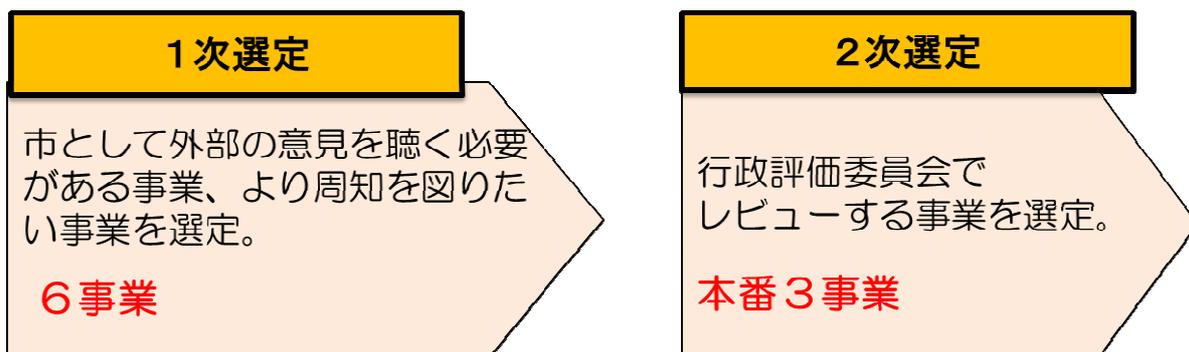
安城市におかれましては、この報告書の内容を踏まえ、事業内容を検証し、改善に向け、積極的に取り組んでいただくことにより、引き続き持続可能な行政経営に努められることを期待いたします。

1 安城市の行政評価（公開行政レビュー）への取組

(1) 公開行政レビュー「市民による市民のための公開事業評価」のポイント

- ア 「外部の視点」、「公開議論」、「市民参加」という3つの視点で実施しました。
- イ 市は事業をわかりやすく説明することで、市民・評価員にご理解いただき、市と評価員との活発な議論の場を創出しました。
- ウ 対象事業は、市として外部の意見を聴く必要がある事務事業を中心に選定し、行政評価委員会が3事業を選定しました。

(2) 事業選定の流れ



(3) 選定事業

No	事務事業名	担当課
1	図書情報館ICT活用事業（電子図書館）	アンフォーレ課
2	防災ラジオ普及事業	危機管理課
3	敬老祝品の贈呈（敬老事業）	高齢福祉課

(4) 公開行政レビューの実施

- ア 実施日 令和元年11月2日（土） 午後1時30分から午後5時まで
- イ 会場 アンフォーレ本館 ホール
- ウ 参加者 コーディネーター：1人（行政評価委員会委員長）
評価員：14人
（内訳 行政評価委員：5人、市民評価員：9人）
- エ 公開行政レビューの流れ（1事業55分）
 - （ア）担当課による事業説明（10分）
 - （イ）行政評価委員との質疑応答（10分）
 - （ウ）市民評価員・行政評価委員との質疑応答（25分）
 - （エ）評価員による評価（3分）
 - （オ）行政評価委員の意見（5分）
 - （カ）コーディネーターによる評価発表・総括（2分）

オ 評価方法

行政評価委員及び市民評価員が評価区分に従い、評価。

※市民評価員の募集及び選出について

(ア) 市民抽出500名に対し5名程度を募集し、応募6名。

(イ) 行政に関心の高いパートナーバンク登録者160名に対し、5名程度を募集し、応募7名。(ただし行政評価委員・事業仕分け・公開行政レビューに参加した実績のあるパートナーバンク登録者を除く)

カ 評価区分(5区分)

拡充：事業規模(事業量、予算、人員)を拡大し、事業内容を充実させるもの
 現行どおり：事業規模または事業内容を現行どおり維持・継続するもの

要改善：事業規模または事業内容を現行どおり維持・継続するもので改善する必要があるもの(実施主体の見直し、事業の手法・内容の一部見直し等)

縮小：事業規模または事業内容を減らすもの

廃止：事業を廃止するもの

(5) 令和元年度公開行政レビュー評価結果

(単位：人)

No	事業名	担当課	評価結果	評価結果内訳				
				拡充	現行どおり	要改善	縮小	廃止
1	図書情報館ICT活用事業 (電子図書館)	アンフォーレ課	拡充	9	1	3	0	1
2	防災ラジオ普及事業	危機管理課	拡充	10	2	2	0	0
3	敬老祝品の贈呈 (敬老事業)	高齢福祉課	廃止	0	0	3	5	6

2 行政評価委員会における評価結果

事業名	1 図書情報館ICT活用事業(電子図書館)【アンフォーレ課】
事業内容	図書情報館WEBサイト内に電子図書館を開設し、スマートフォンなどで閲覧する電子書籍を市内在住の利用者に限り貸し出すサービスを行っている。
論点	電子図書館は、仕事や家庭などの事情で図書館に来館しにくい方や障害者が利用しやすい図書館サービスとしても期待できるので、電子書籍の蔵書を増加させ、更なる利用促進を図っていきたいが、どうか。
評価結果	拡充
意見等	① 今後は、電子書籍の需要が高まり、ますます利用が多くなっていくと思うため、電子図書館サービスも拡充してほしい。 ② 電子図書館のPRを十分にしてほしい。

今後担当課 に取組を求 める内容	文字に親しむ機会、知的情報を入手する機会は多様であってほしい。 電子書籍は、今後ますます利用の増加が見込まれるため、利用状況等の分析を進め、紙の本と電子書籍に対する短・中期的な収集・閲覧方針等をオープンにしたうえで、拡充に努めていただきたい。また、利用促進や周知等PR方法についても工夫していただきたい。
------------------------	---

事 務 名	2 防災ラジオ普及事業【危機管理課】
事 業 内 容	大地震や風水害による災害情報等を強制的に発信できる防災ラジオの運用を行っており、その普及を図るため、1世帯1台(2,000円)で販売及び啓発を行っている。
論 点	災害情報伝達の手段の一つとして、防災ラジオの販売を実施し、引き続き、普及率20%を目標に、防災ラジオを普及させていきたいが、どうか。
評 価 結 果	拡充
意 見 等	①自然災害のリスクが高まっている。啓発も含め、積極的に取り組んでほしい。 ②災害時のスマホとラジオの両使いをすすめてほしい。 ③価格、デザインの見直し、多言語による対応についても検討してほしい。
今後担当課 に取組を求 める内容	被災地の状況を例に、防災ラジオは、災害時に必要な情報を得るための手段の一つとして、年齢を問わず幅広く広報し、啓発を含め積極的に普及に努めていただきたい。

事 業 名	3 敬老祝品の贈呈（敬老事業）【高齢福祉課】
事 業 内 容	80歳以上の方を対象に、その長寿を祝うため、祝品を町内会を通じて贈呈する。
論 点	近年、市の予算における高齢者に係る事業経費が増加し、今後も増え続けることが予想されるため、今後事務事業を厳選していく中で、敬老祝品の贈呈を廃止としたいが、どうか。
評 価 結 果	廃止
意 見 等	①今の社会状況にあった方法で対応すればよく、敬老事業全体の中で組み合わせが大事だと思う。 ②限りある予算の中で、廃止は致し方ないが、敬老の思いを伝える方法や機会は作ってほしい。 ③費用対効果を考えると、今後に向けて、より高齢者のためになる予算の使い方をしてほしい。

<p>今後担当課 に取組を求 める内容</p>	<p>事業の役割を確認し、敬老祝金も含め、敬老事業全体の中で、現在の社会状況にあった見直しを検討していただきたい。 敬老の思いや感謝の意を伝える方法や機会を工夫していただきたい。</p>
---------------------------------	---

3 総括的な意見

<p>①今年度から事業をよりわかりやすくするため、事業評価シートの構成を変更し、新たに活動目標や活動継続により得られる成果を数値化した指標を取り入れ、明確化したことにより、より事業への理解が深まったように思う。</p> <p>②今年度も市民評価員と共に、公開行政レビューの概要や市民評価員の役割、対象事業等に対する知識を深めるため、説明会や模擬レビューを実施できたことにより活発な議論が行えた。</p> <p>③今年度も幅広い世代の方に評価員として参加していただき、様々な立場からの意見を聴くことができた。</p> <p>④今後、各事業においては、今回の結果を踏まえ、他部署との連携を進め、事業の推進・展開をしていただきたい。</p> <p>⑤公開型の外部評価を開始した当初と現在では社会情勢も変化しているため、次年度以降、より効果的な外部評価の手法について検討していただきたい。</p>
--